



# 東校だより

夏休み号

令和4年7月20日  
横浜市立東小学校  
校長 保科 桂子

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/azuma/>

## 地域でも、「あずま」

児童支援専任 内藤 峻至

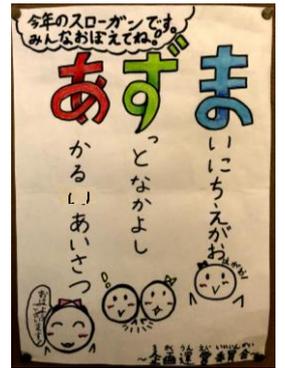
いよいよ明日から夏休みです。楽しみにしていることは思いきり楽しみ、また学習や家庭生活に目標を持って過ごす時間にしてほしいです。

新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きませんが、地域の夏の行事が少しずつ再開される予定となっています。これからは、感染を防ぎながら、だんだんとかつてのように人と人とのつながりが戻っていくのかなと思います。

先日、学校運営協議会が開かれました。学校と保護者や地域の皆様の代表者が知恵を出し合い、共に学校運営について考える機会です。学校運営協議会に参加された方に、私から紹介させていただいた東小学校での取り組みを、この場でも伝えさせていただきます。

東小学校の子どもたちが、毎日の生活を楽しく過ごすために決めたスローガンがあります。

「あ 明るいあいさつ ず ずっとなかよし ま 毎日笑顔」です。



校内の階段や教室に、子どもたちが書いたポスターが貼られています。

このスローガンに向けて、子どもたちは家庭や地域でも、積極的にあいさつをしようと取り組んでいる最中です。しかし、実際はなかなか思うようにできていないという話を、子どもたちから聞いたことがあります。

「『地域の人』と言われても誰にあいさつしたらいいだろう…。うまくできないよ。」

する人とされる人がいて成り立つあいさつ。子どもも大人もあいさつが定着するまでに、相手のことを知って、どんな人なのか理解して、毎日継続させることが大切だと思います。

子どもたちが登校する時間帯に、散歩をされている方、出勤時間が重なる方、掃除をいただいている方など、この手紙を読まれている方でいらっしゃいましたら、ぜひ「おはよう」と声をかけてください。きっと「いつも〇〇されている方だ」と認識が生まれ、子どもたちがあいさつをするきっかけになるはずです。

これから始まる夏休みの期間は、家庭や地域で過ごす時間です。保護者の皆様も子どもたちと一緒に、地域でのあいさつの輪を広げていってください。

子どもたちが考えたあいさつ活動で、「学校もまちも "毎日笑顔" になれたらいいな。」と願っています。

39日間の夏休み。登校再開以降、一人ひとりがどのように過ごしたのか、楽しかった話、目標を持って努力した話など、たくさん話が聞けることを楽しみにしています。